

## 第3回 習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会 議事録

開催日時：平成24年9月29日（土曜） 午後1時10分から午後4時

場 所：習志野市消防庁舎5階講堂

出席者：委員 27名 事務局 7名 支援事業者2名

### ■議事内容

#### 1. 開会

傍聴者5名の入室を許可

#### 2. 事務局説明

委員からの資料および特別傍聴人の資料の添付を紹介

#### 3. 第2回市民委員会の意見集約の公表・確認

各4班に分かれてまとめられた基本理念、基本方針、求められる役割についての内容確認

#### 4. 新庁舎建設にあたってのレクチャー（南委員長）

南委員長による新庁舎建設にあたってのレクチャー（パワーポイント）

#### 5. グループ討議、発表

各4班に分かれてのワークショップ。各班で進行役、発表者の選任

### 1班

#### 【前回内容について】

- ・前回内容についての修正等はなし。

#### 【事業用地の選定】

- ・市民の利便性、用地面積、環境等を考慮するとBがよいと考える。

#### 【新庁舎必要面積】

- ・現庁舎は40数年前に建てられているため狭いのではないかと考える。面積については、必要最低限のことを基準に考えるほうがよいのではないか。
- ・昔と今とでは資料の数や職員数等さまざまな条件が異なるため、一概には言えないが、整理整頓をすればもっとコンパクトになるのではないかとの意見もある。また、議場についても立派なものにする必要はないのではとの意見もある。

### 2班

#### 【前回内容について】

- ・コンパクト化やボランティア機能の活用のために、フレキシブルに対応可能な空間にしてほしい。
- ・習志野市の市庁舎として歴史のアイデンティティや歴史を反映した歴史館のようなスペースがあってもいいのではないか。

#### 【事業用地の選定】

- ・ 2 班の結論はB である。
- ・ A については、工期が長い、用地が狭い（将来さまざまな機能を追加するにあたって、増築が困難）等のデメリットが多い。また、周辺環境に配慮すると高層化も困難ではないか。
- ・ A のメリットとしては、「コミュニティバスを利用できる」、「B を売却できる」、「馴染みがある」「京成津田沼駅から 500m ということで、アクセスもいい」「市の中心である」等があげられる。
- ・ B については、「増築の自由度が高い」「駐車場の確保が容易」「防災拠点になる」等のメリットがあるほか、「市民祭りの場所の確保」「駐車場台数の十分な確保」などのデメリットもある。
- ・ C, D については、「JR に近い」「市街からのアクセスがいい」等のメリットはあるが、「防災拠点にはなりにくい」「市の中心ではなく端に位置しているため使い勝手が悪い」「コストが高いのではないか」「駐車場確保の問題」等のデメリットがある。

#### 【新庁舎必要面積】

- ・ 1 人当たり 20 m<sup>2</sup> から 22 m<sup>2</sup> が妥当ではないか。
- ・ 書類をデータ化したり、収納スペースのコンパクト化すればもっとコンパクトになるのではないか。
- ・ ワンストップサービスの工夫として、たとえば毎日必要なサービスについては1 階に設置してもよいのではないか。月単位とか年単位のサービスについては、2 階以上でよいのではないか。
- ・ 庁舎面積については1 万 7000~1 万 8000 m<sup>2</sup> が妥当ではないか。
- ・ 保健会館、図書館、ラウンジ・売店を含むレストラン、歴史博物館等について追加の機能として検討が必要ではないかと考える。

### 3 班

#### 【前回内容について】

- ・ まとめた資料について、「市民を守る庁舎」「経済的で合理的なスリムな庁舎」とあるが、これは最低条件ではないか。また、「防災拠点」についても小さすぎるのではないか。
- ・ 新庁舎で何が必要かをしっかり考えた上で求められる役割を考えていく必要がある。
- ・ 高齢者に配慮するためには身近な場所に施設があったほうがよいため、市庁舎をコンパクトにし、機能を分散してもよいのではないか。

#### 【事業用地の選定】

- ・ 3 班はB で建設すると考えていた。
- ・ A については、将来のために残しておいたほうがよいと考える。
- ・ C については、資金調達場所と考えている。
- ・ D については、民間のビルは考えにくいのではないか。

#### 【新庁舎必要面積】

- ・資料の数字について疑問があった。
- ・案4を参考にして考えたが、従来型の面積であるため、南委員長の考え（廊下を削る等2割削減）を考慮すると、22.2㎡/人程度（案2）と考える。
- ・資料を参考にすると、案2よりもコンパクトにできるのではないかと考える。

#### 4班

##### 【前回内容について】

- ・基本理念、基本方針について、「市民サービスに関係する部分」「防災に関係する部分」「環境」「地域とか景観」について議論した。
- ・市民が利用しやすいということを考えると、できる限り低層から中層、できれば4階建てぐらいの建物にして、エレベーターやエスカレーター等を使いながら、わかりやすい中層の建物が理想ではないかと考える。
- ・市役所以外の機能（図書館等）を入れなくてもいいのではないか。
- ・「市民が利用できる市民スペース」「多目的スペース」「行政と市民が協働して使えるようなスペース」「習志野市の特産や展示販売ができるような場所」「市の紹介コーナーのようなちょっとしたギャラリーのようなスペース」「待合コーナー」「職員も市民も利用できる食堂」は必要ではないか。
- ・「駐車場の確保」や「用途、目的を変更できるフレキシブルな議場」「職員と市民の執務スペースの動線分け」「自動発行機の充実」も重要になるのではないか。
- ・防災に関しては「屋上ヘリポート」「防災拠点としての役割の充実」「庁舎と消防署の連携による防災拠点」「非常時にボランティアの活動のスペースになるような場所」「非常時の防災本部になり得るようなスペース」が重要ではないか。
- ・環境面に関しては、「雨水利用」「わかりやすいサインや空間」「人による誘導」が重要ではないか。
- ・建設後の運営管理費の削減を考え、メンテナンスフリーな建物がよいのではないか。
- ・「十分な耐震性能」「太陽光発電」「西日対策を考えた環境負荷の少ない壁面やガラスの採用」「屋上緑化（コケによる緑化）」「LED照明のような長寿命の照明」等環境負荷に配慮した建物にする必要があるのではないか。
- ・地域面に関しては、「市民祭りが開かれる敷地は必要ではないか」「市役所の機能は限定すべき」「図書館は別に整備すべき」等市役所の中にほかのホールとか図書館を入れる必要はないのではないか。
- ・池や自然スペースや市民の憩いの場はあったほうがいい。
- ・あまり立派なシンボルは不要。

##### 【事業用地の選定】

- ・4班はBがよいとの結論になった。ただし、駅からのアクセスも含めた利便性はあまりよくなく、土地に傾斜があるため、利用とか排水には検討が必要と考える。そのため、Bがベストだということではない。
- ・Aについては、工期が長くなる。
- ・Cについては、場所はよいが、敷地形状がよくない、駐車場が確保できない等総合

的にマイナス評価となった。

- ・ Dについては、民間の建物を使うということで問題外とした。
- ・ 他の場所として、千葉工大の津田沼キャンパスが一番いいのではとの意見もあった。

#### 【新庁舎必要面積】

- ・ 民間オフィスとの比較も必要ではないか。
- ・ 辛口ではあるが、一般の執務スペースは相当縮小して、市民向けのスペースは充実するというのも考えられる。
- ・ 現庁舎が17.5 m<sup>2</sup>/人であるため新庁舎は12 m<sup>2</sup>/人でよいとの意見もあった。

#### 6. 講評、まとめ

- ・ オフィスのレイアウトや窓口機能、フリーアドレス化等を取り入れることで、市庁舎の面積はよりコンパクトになるのではないか。
- ・ 夜間および週末でも利用されるような工夫（稼働率を上げる）が必要ではないか。また、よりよい工夫、たとえば図書館機能を入れたり、ギャラリー機能を入れたりすることで、老朽化している他の公共施設を集約することも可能ではないか。